



*- User-oriented Medicinal Product & Service Developer -*

株式会社総医研ホールディングス

( 2385 東証グロース )

2025年6月期 第2四半期決算説明会資料  
(2025年2月19日)

1.

**当社グループの紹介**

2.

**2025年6月期 第2四半期決算 概要**

3.

**2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別**

4.

**2025年6月期 方針・戦略**

5.

**その他補足資料**

1.

## 当社グループの紹介

2.

2025年6月期 第2四半期決算 概要

3.

2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別

4.

2025年6月期 方針・戦略


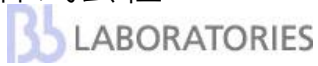


5.

その他補足資料

## 経営理念

医科学の研究成果を事業化し、  
人々の健康で安全な生活の実現に寄与する

当社グループは、大学発のバイオマーカー技術に基づく「エビデンス」を様々な領域で構築、活用することにより、人々の健康で安全な暮らしを実現し、医療費の抑制や生活快適性の向上等に貢献することを目指します。

設立	1994年7月26日
本社所在地	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番2号
代表者	代表取締役社長 角田 真佐夫
資本金	18億3,658万7,052 円
決算期	6 月
従業員数	89名（グループ連結正社員数）※2024年12月末時点
事業内容 連結子会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式会社総合医科学研究所  (生体評価システム事業・ヘルスケアサポート事業)</li><li>・株式会社ビービーラボラトリーズ  (化粧品事業)</li><li>・日本予防医薬株式会社  (健康補助食品事業)</li><li>・株式会社NRLファーマ  (機能性素材開発事業)</li></ul>



## 株式会社総合医科学研究所

### 生体評価システム事業

バイオマーカー技術に基づく食品等の臨床評価試験の受託（評価試験事業）、バイオマーカー技術の供与、共同開発等（バイオマーカー開発事業）を行っております。

### ヘルスケアサポート事業

特定保健指導の受託、被扶養者を対象とする特定健診の受診勧奨サービス、糖尿病重症化予防サービス等、健保組合に対する様々なサービスを提供しております。



### 化粧品事業

プラセンタエキスを用いた「プラセンタ研究所」シリーズを主力とする高機能化粧品の販売を行っております。



### 健康補助食品事業

抗疲労プロジェクトから生まれた「イミダペプチド」等、当社グループのバイオマーカー技術、食品開発のノウハウや経験を活かした独自性のある健康補助食品の販売を行っております。



### 機能性素材開発事業

ラクトフェリンをはじめとする機能性素材の研究開発および販売等を行っております。

非連結グループ会社：株式会社ウィルス医科学研究所

1.

当社グループの紹介

2.

**2025年6月期 第2四半期決算 概要**

3.

2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別

4.

2025年6月期 方針・戦略

5.

その他補足資料

### 売上高の状況

売上高は、前年同期実績に対して-5.5%と微減となった。

主要因は、健康補助食品事業において、2Qより販売促進費・広告宣伝費の適正化と共に、継続的な購入顧客にターゲットを絞った販売促進・広告宣伝へと方針を転換したことで新規顧客が減少したことによるもの。

### 営業利益の状況

営業利益は、前年同期実績に対して大幅に改善した。

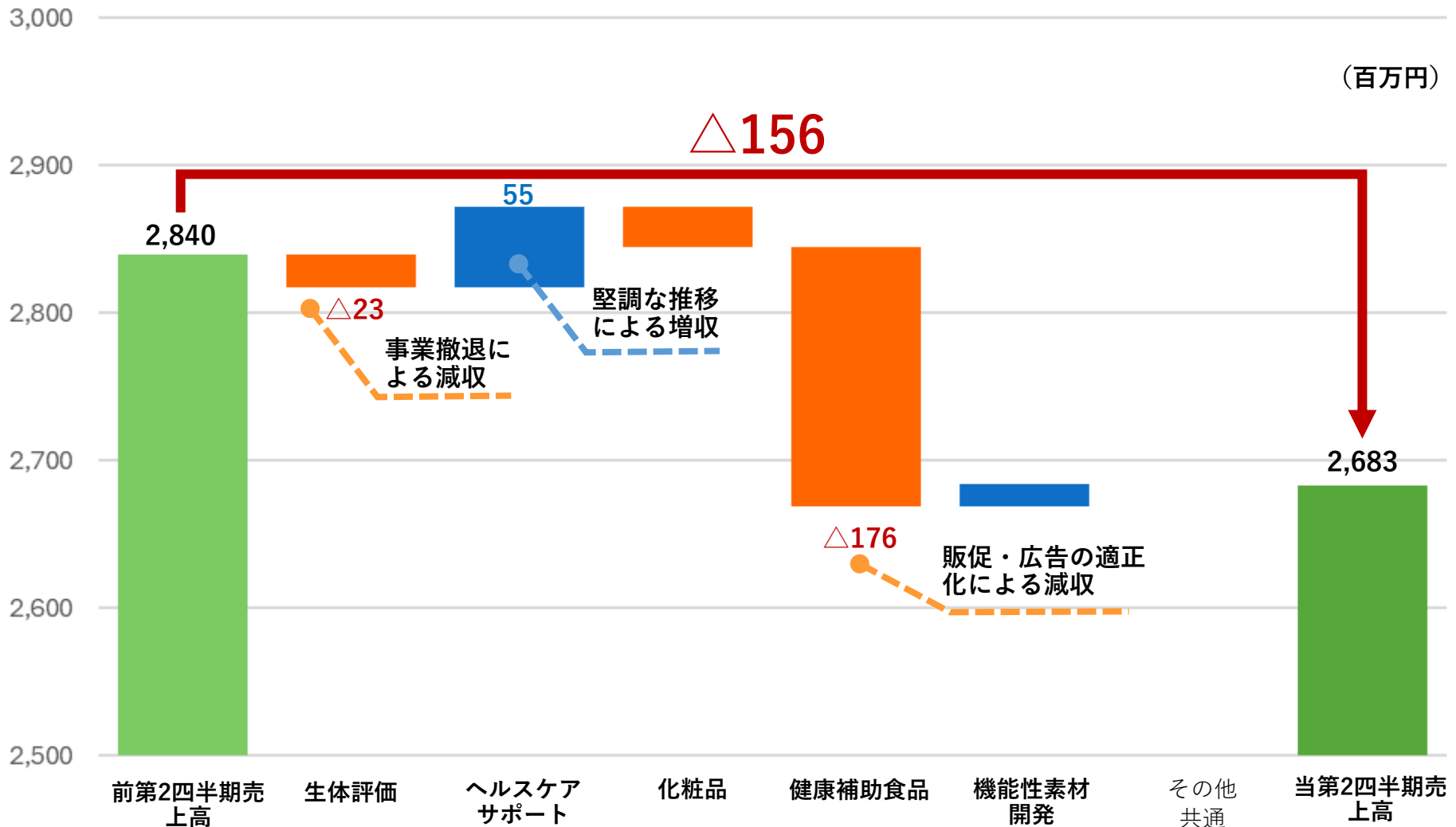
健康補助食品事業における販売促進費・広告宣伝費の適正化に加え、化粧品事業においても同様に販売促進費・広告宣伝費の抑制を行ったことやフラッグシップショップの閉鎖によって、営業利益率を改善したことによるもの。

	2024/6月期 第2四半期	2025/6月期 第2四半期	増減	増減率	(百万円)
売上高	2,840	<b>2,683</b>	-156	-5.5%	
売上総利益	1,378	<b>1,331</b>	-47	-3.5%	
営業利益	-455	<b>-203</b>	252	—	
経常利益	-449	<b>-198</b>	251	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	-487	<b>-222</b>	265	—	
営業利益率	-16.0%	<b>-7.6%</b>	<b>8.5%</b>	—	

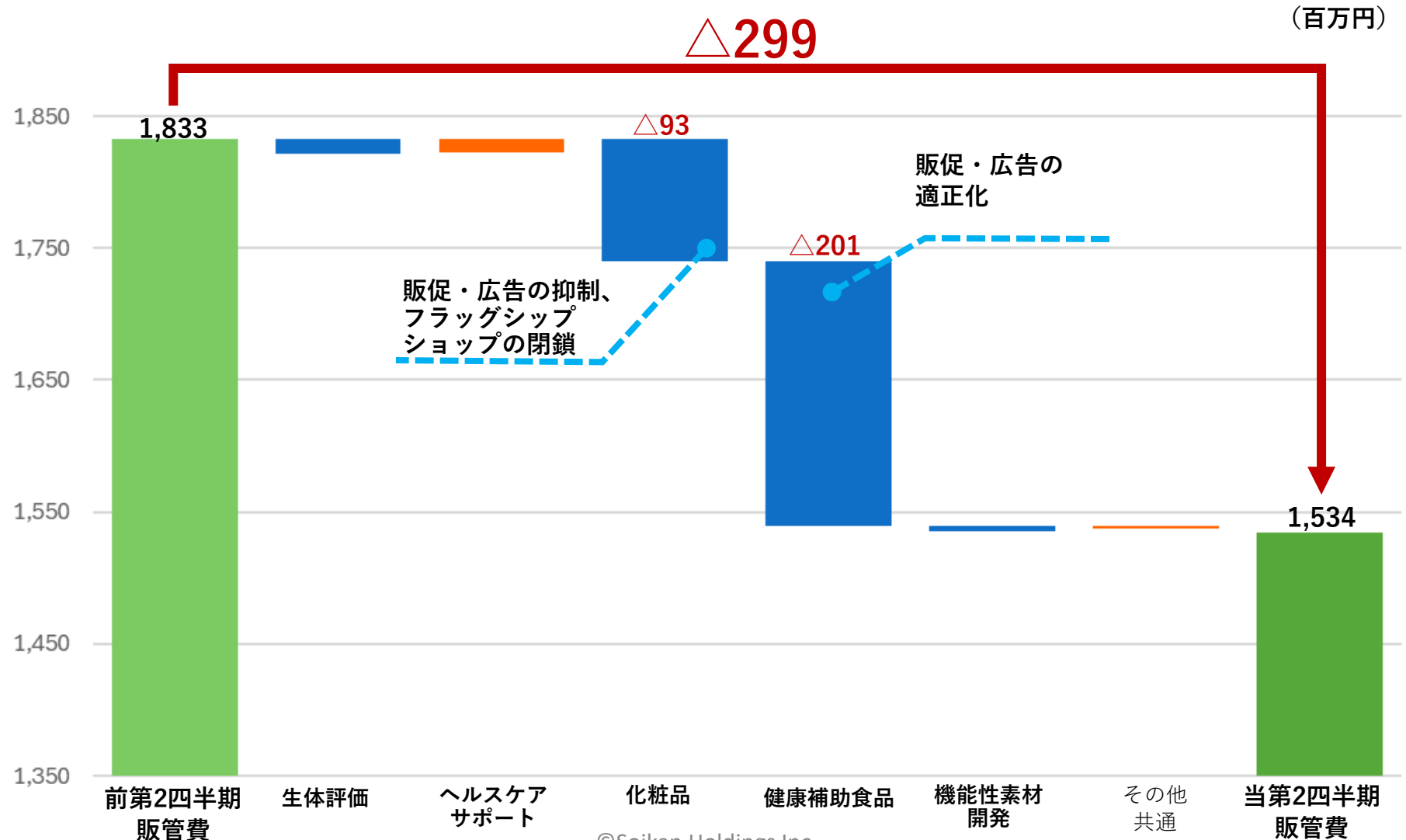


# 2025年6月期 第2四半期決算 概要（売上高）

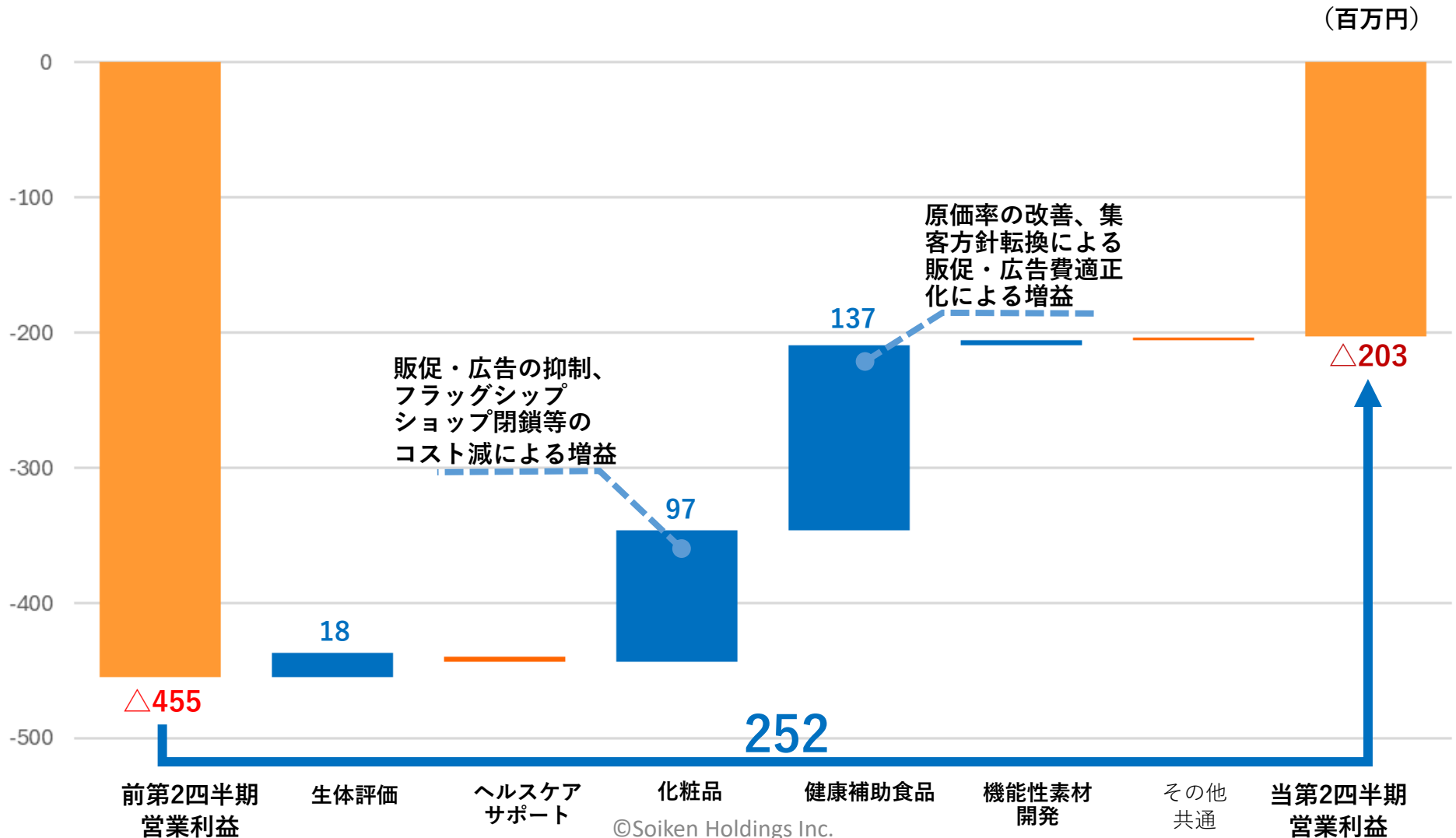
▶ ヘルスケアサポート事業において堅調な受託増による増収はあったものの、生体評価システム事業において事業撤退を行った医薬臨床研究支援事業の売上減、健康補助食品事業における販売促進・広告宣伝の方針転換による新規顧客の減少に伴い、前年同期との比較では減収となった。



▶ 化粧品事業において販売促進費・広告宣伝費を抑制したことに加え、販売促進の一環として設置していたフラッグシップショップも閉鎖し、健康補助食品事業において、販売促進費・広告宣伝費の適正化と共に、継続的な購入顧客にターゲットを絞った販売促進・広告宣伝へと方針を転換したことで、販管費は前年同期比較で大幅に縮減した。



▶ 化粧品事業における販売促進費・広告宣伝費の抑制およびフラッグシップショップの閉鎖によるコスト削減による増益、健康補助食品事業における販売価格の値上げによる原価率の改善、販売促進費・広告宣伝費の適正化による増益によって、前年同期と比較して大幅な利益改善となった。



# 連結貸借対照表 増減

▶ 中間純損失を計上したことにより、純資産が減少したものの、従前どおり、有利子負債は0であり、財務体質は健全な状態を維持した。

	前期末 (2024/6)	当第2四半期 (2024/12)	(百万円)
	実績	実績	増減
<b>流動資産</b>	<b>6,765</b>	<b>6,395</b>	<b>-369</b>
現金及び預金	4,790	4,563	-226
棚卸資産	1,120	938	-182
その他	855	894	39
<b>固定資産</b>	<b>180</b>	<b>187</b>	<b>6</b>
有形固定資産	20	39	19
無形固定資産	26	23	-2
投資その他の資産	134	124	-9
<b>総資産</b>	<b>6,946</b>	<b>6,583</b>	<b>-362</b>
<b>負債</b>	<b>697</b>	<b>556</b>	<b>-140</b>
仕入債務	206	147	-59
その他	491	409	-81
有利子負債	-	-	-
<b>純資産</b>	<b>6,249</b>	<b>6,026</b>	<b>-222</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>6,946</b>	<b>6,583</b>	<b>-362</b>

1.

当社グループの紹介

2.

2025年6月期 第2四半期決算 概要

3.

**2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別**

4.

2025年6月期 方針・戦略

5.

その他補足資料

## 生体評価システム事業



■前期末に撤退した医薬臨床研究支援事業の売上高の計上がないものの、評価試験事業は臨床評価試験の受託増加によって大幅に売上高が増加（前年同期比133.5%増）し、生体評価システム事業全体では前年同期との比較では僅かながら売上高が減少した。営業利益は売上総利益率が改善したことや医薬臨床研究支援事業の費用が計上されなかったことなどに起因して、前年同期との比較では増益となった。

（百万円）

	2024/6月期	2025/6月期	増減	増減率	2025/6月期	
	第2四半期	第2四半期			業績計画	進捗率
売上高	175	<b>152</b>	-23	-13.3%	250	60.8%
売上総利益	42	<b>48</b>	5	13.1%	69	69.8%
営業利益	1	<b>19</b>	18	1377.4%	0	—

## ヘルスケアサポート事業



■医療機関ネットワークを活用した各種健康診断、特定保健指導、受診勧奨サポートや糖尿病の重症化予防サービス等の受託が堅調に推移し、売上高は増収となったものの今後の事業拡大を見据えた増員や事業スペースを拡充したことに伴う賃借料の増加および研究開発費の増加によって減益となった。

（百万円）

	2024/6月期	2025/6月期	増減	増減率	2025/6月期	
	第2四半期	第2四半期			業績計画	進捗率
売上高	337	<b>392</b>	55	16.4%	700	56.0%
売上総利益	81	<b>88</b>	6	8.5%	230	38.3%
営業利益	42	<b>39</b>	-3	-7.5%	120	32.5%

## 化粧品事業



■前期に予定されていたGolong社との直接取引による発注が当第2四半期に行われたものの中国向け卸売販売は伸び悩み、売上高は前年同期とほぼ同水準となった。他方、販売促進費および広告宣伝費の抑制とフラッグシップショップの閉鎖によるコスト削減によって増益となった。

(百万円)

	2024/6月期	2025/6月期	増減	増減率	2025/6月期	
	第2四半期	第2四半期			業績計画	進捗率
売上高	778	<b>751</b>	-27	-3.6%	1,200	62.6%
売上総利益	365	<b>369</b>	4	1.2%	566	65.2%
営業利益	-72	<b>25</b>	97	—	-200	—

## 健康補助食品事業



■売上高は、2Qから販売促進費・広告宣伝費の適正化と共に、継続的な購入顧客にターゲットを絞った販売促進・広告宣伝へと方針を転換したことで、前年同期対比では新規顧客が減少し減収となったものの、値上げによる原価率の適正化および販売促進・広告宣伝の方針転換による費用の抑制効果から、大幅な営業利益率の改善を実現し、営業損失の縮減となった。

(百万円)

	2024/6月期	2025/6月期	増減	増減率	2025/6月期	
	第2四半期	第2四半期			業績計画	進捗率
売上高	1,390	<b>1,213</b>	-176	-12.7%	2,500	48.5%
売上総利益	837	<b>773</b>	-63	-7.6%	1,625	47.6%
営業利益	-269	<b>-131</b>	137	—	25	—

## 機能性素材開発事業



■ラクトフェリン・妊活OEM商品の受注も好調に推移し、前年同期との比較では増収増益となった。期初より計画していた更なる新商品の開発に向けて研究開発投資を下半期に実施する予定である。

(百万円)

	2024/6月期 第2四半期	2025/6月期 第2四半期	増減	増減率	2025/6月期 業績計画	進捗率
売上高	156	<b>172</b>	15	10.0%	400	43.0%
売上総利益	51	<b>50</b>	0	<b>-1.5%</b>	114	43.9%
営業利益	0	<b>3</b>	3	—	<b>-30</b>	—

## その他グループ共通

■グループ全体の共通費用については、大きな変動はなく、前年同期と同水準で推移した。

(百万円)

	2024/6月期 第2四半期	2025/6月期 第2四半期	増減	増減率	2025/6月期 業績計画	進捗率
売上高	0	<b>0</b>	0	—	0	—
売上総利益	0	<b>0</b>	0	—	0	—
営業利益	<b>-156</b>	<b>-158</b>	<b>-2</b>	—	<b>-315</b>	—



1.

当社グループの紹介

2.

2025年6月期 第2四半期決算 概要

3.

2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別

4.

**2025年6月期 方針・戦略**

5.

その他補足資料

## 経営資源の適切な 配分

グループ全体の業務効率化およびスリム化を図り、収益性を高めるとともに、事業間シナジーの効果を向上させる。

### (1) 子会社間の関東事業所 統廃合によるコスト削減

化粧品事業において原宿で運営していたフラッグシップショップをコスト削減のために閉鎖。さらに関東事業所の集約に向けて移設を進める。

### (2) 化粧品事業の現況と課題

中国市場の先行きが不透明な中、中国市場向け卸売による売上高への過度な依存が課題。日本国内および他の海外市場での売上高増加を検討。

### (3) 健康補助食品事業における収益性改善

長期的なファン層である継続購入顧客をターゲットとした販売促進・広告宣伝、費用を抑制しつつもこれらの顧客層の維持を図る。

「疲れの根本を科学、疲労対策の総合商社：日本予防医薬」を目指し、食品以外の商品展開も進める。

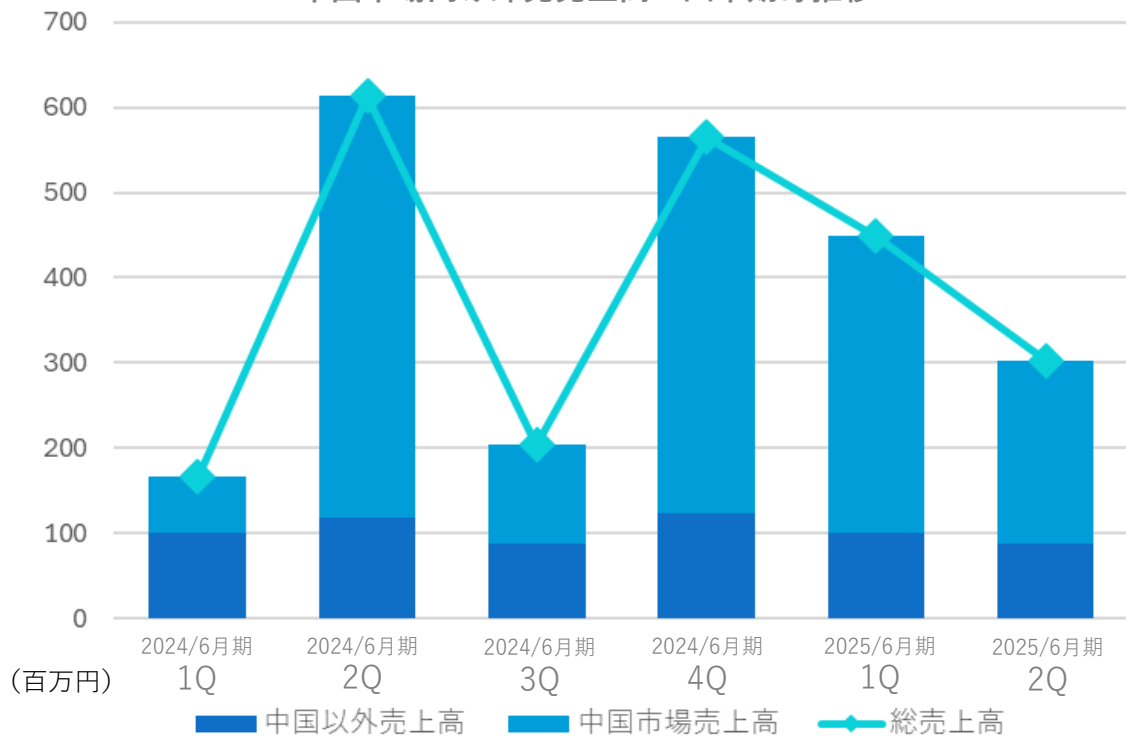
## 化粧品事業



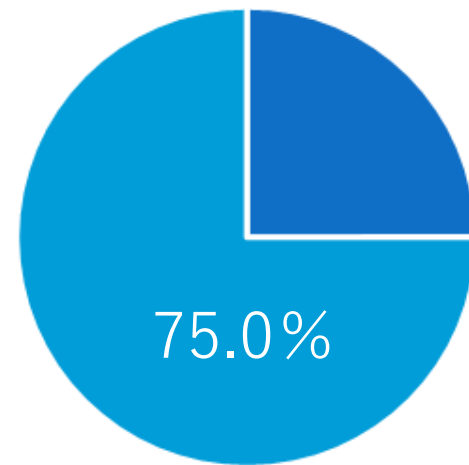
## 化粧品事業の現況と課題

中国市場の先行きが不透明な中、中国市場向け卸売による売上高への過度な依存が課題。日本国内および他の海外市場での売上高増加を検討。

中国市場向け卸売売上高の四半期毎推移



2025/6月期 第2四半期



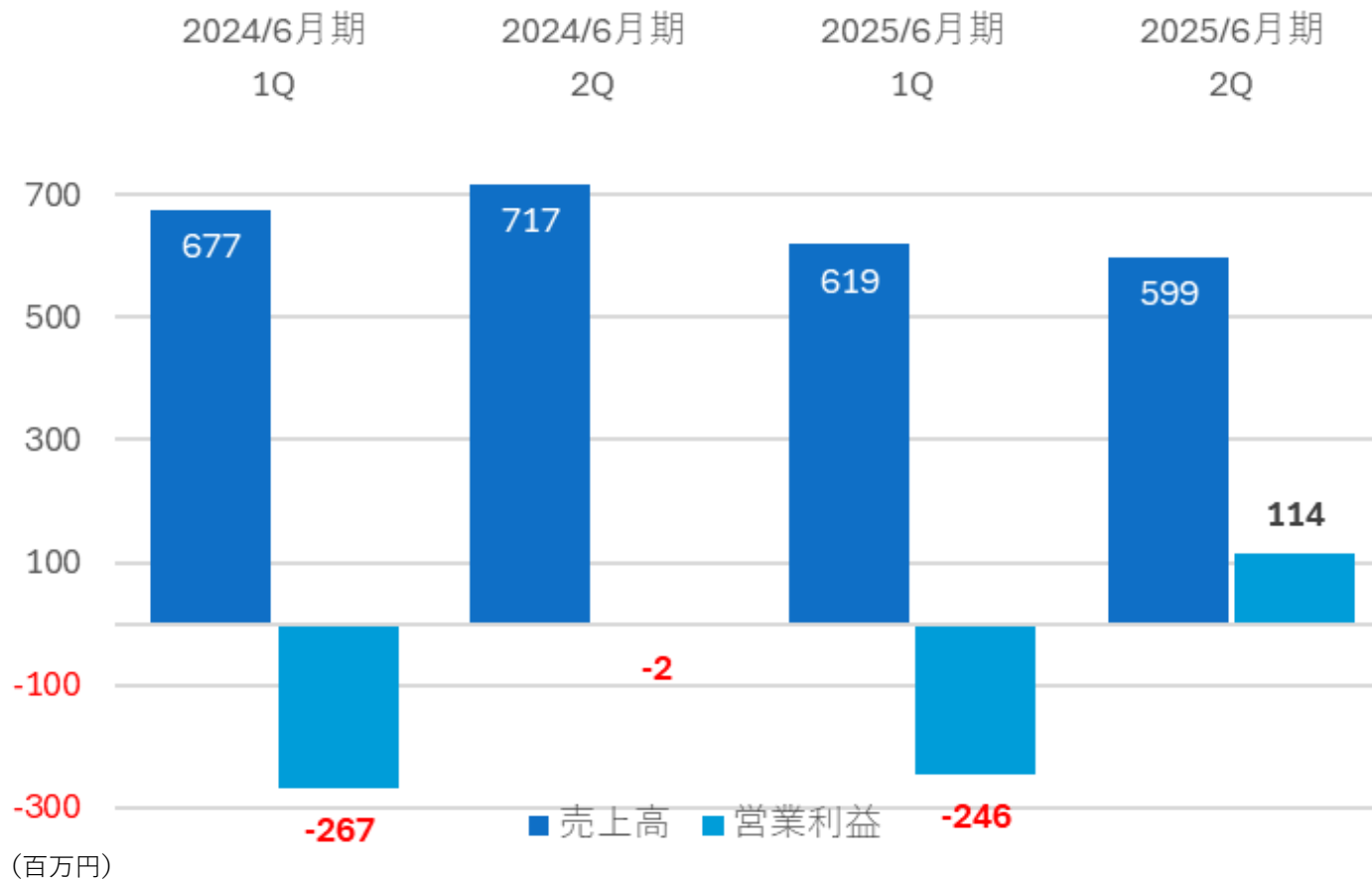
■ 中国以外売上高 ■ 中国市場売上高

健康補助食品事業



## 健康補助食品事業における収益性改善

2Qより方針の転換を図ったことで売上高は減少したものの収益性は大きく改善した。下半期においても販売促進・広告宣伝の適正化によって、収益性を改善し、通期業績予想の営業利益数値を達成する見込み。



## 研究開発投資

経営理念である「医科学の研究成果を事業化し、人々の健康で安全な生活の実現に寄与する」に原点回帰し、抗疲労・フェムテック分野を中心として研究開発投資および関連事業でのM & Aによる買収も投資として注力。

### (1) ウイルス研究から得られた疲労およびうつ病に関する研究成果の社会実装

東京慈恵会医科大学との産学連携講座「疲労医学講座」において近藤一博教授が行ってきたヒトヘルペスウイルスを用いた疲労定量化技術やうつ病の原因遺伝S I T H - 1に関する基礎研究を更に発展させ、当社と近藤一博教授の共同設立会社である「ウイルス医科学研究所」が取得済みの様々な特許、技術を元に展開を予定しており、研究開発を継続。

### (2) Medifellow社との業務提携による「オンライン健康相談サービス」の展開

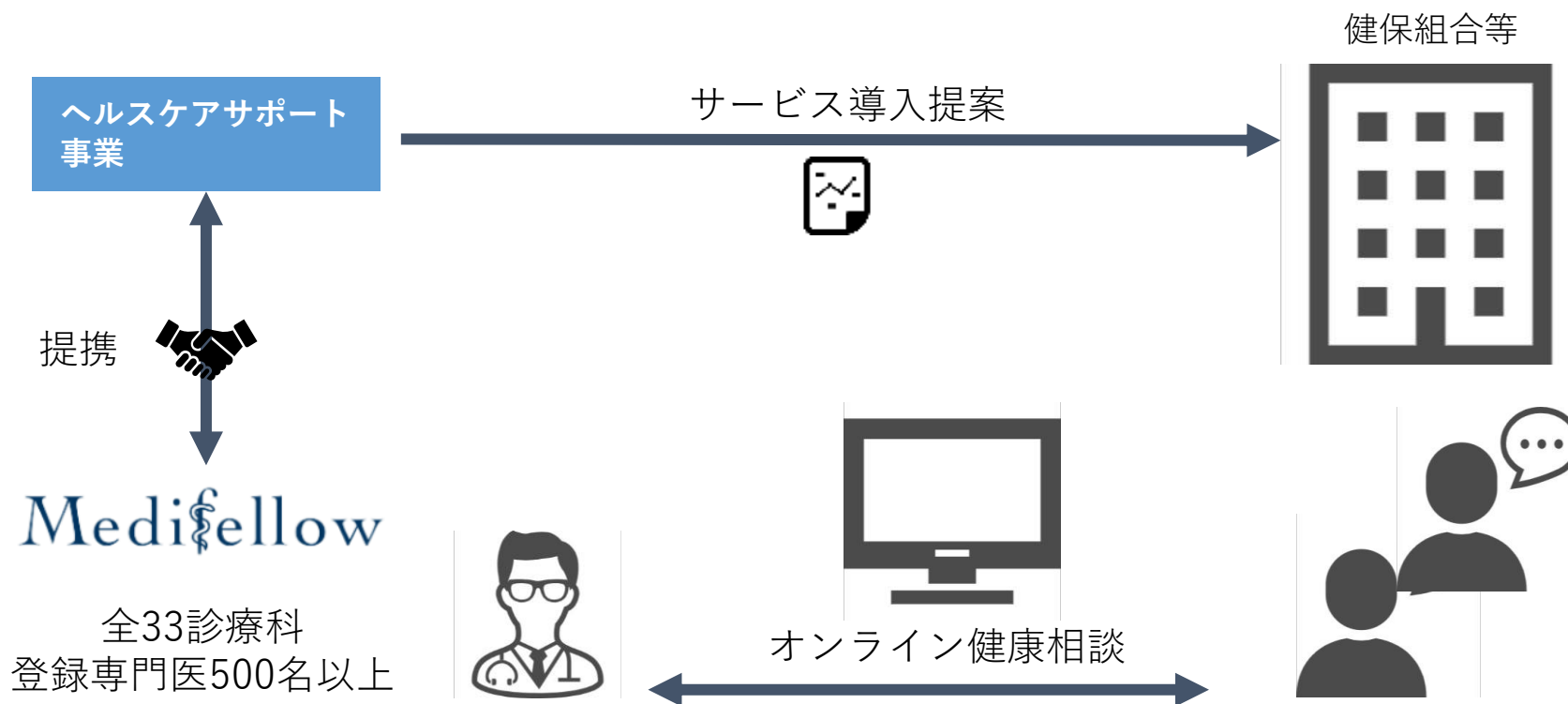
### (3) Varinos社との新たな共同特許によるラクトフェリン製品の更なる活用

Medifellow



## Medifellow社との業務提携による「オンライン健康相談サービス」の展開

Medifellow社の「オンライン健康相談サービス」をヘルスケアサポート事業の既存顧客である健康保険組合等へ導入提案を図り、組合等の加入者である従業員がサービスを利用。従業員の健康維持や医療費削減を図る。

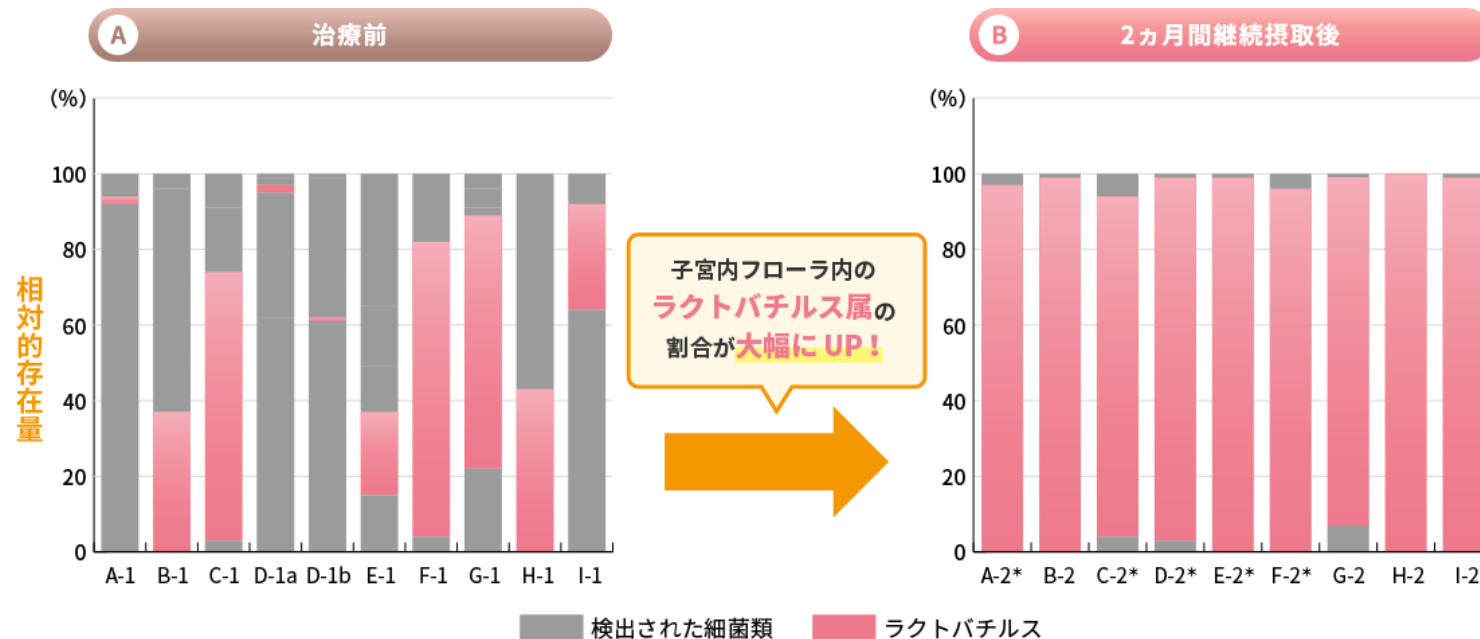


## 機能性素材開発事業

NRL: 株式会社NRLファーマ  
NRL Pharma, Inc.

## Varinos社との共同特許によるラクトフェリン製品の更なる活用

ラクトフェリンの用途として、子宮内フローラの改善を通じて不妊患者向けに妊娠確率を向上させる技術に、妊娠後の子宮内の細菌叢の乱れに起因する流産や早産のリスクを抑える技術が追加された。この用途について関連学会等を通じて、認知拡大を行う。また、健康経営企業に対しても働く女性の健康課題サポートサービスとして提供する予定。



(\*印のある患者は、その後の不妊治療で妊娠した患者を示す。)

(グラフの下の記号は患者のコードを表し、同一コードは同一患者であることを示す。)

【出典】 Kyono K, Hashimoto T, Kikuchi S, Nagai Y, Sakuraba Y. A pilot study and case reports on endometrial microbiota and pregnancy outcome: An analysis using 16S rRNA gene sequencing among IVF patients, and trial therapeutic intervention for dysbiotic endometrium. Reprod Med Biol. 2018

## 2025年6月期 業績予想

「経営資源の適切な配分」と「研究開発投資」の方針のもと、2025年6月期の当初の業績予想を達成する見込み。

■ 当第2四半期

■ 通期業績予想

(百万円)

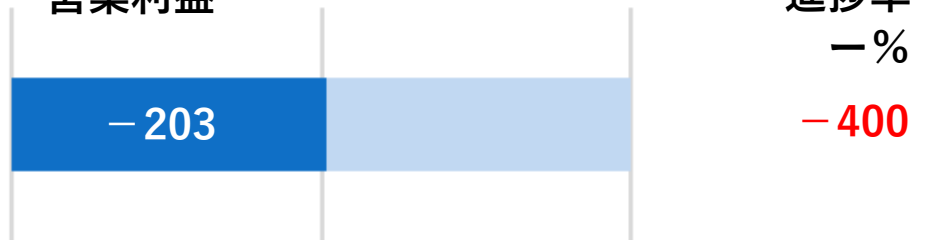
### ・ 売上高



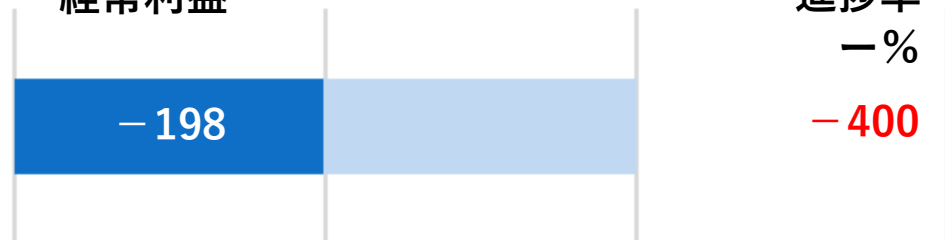
### ・ 売上総利益



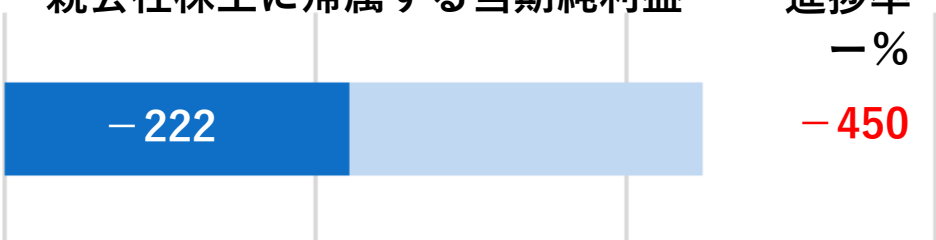
### ・ 営業利益



### ・ 経常利益



### ・ 親会社株主に帰属する当期純利益





1.

当社グループの紹介

2.

2025年6月期 第2四半期決算 概要

3.

2025年6月期 第2四半期決算 セグメント別

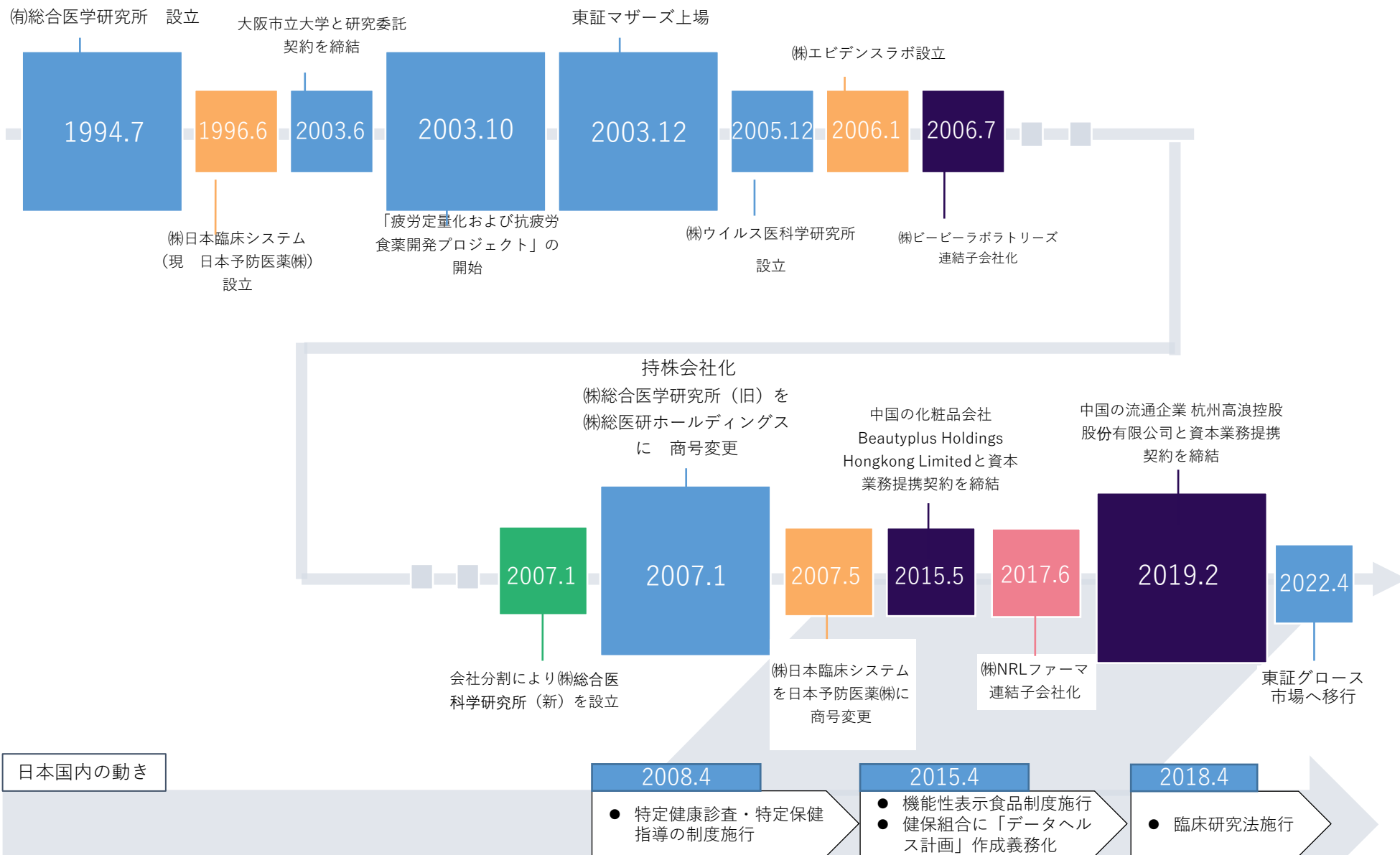
4.

2025年6月期 方針・戦略

5.

その他補足資料

# その他補足資料：当社グループの沿革



# その他補足資料：連結財務ハイライト

		2020/6月期	2021/6月期	2022/6月期	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期 当第2四半期
経営成績	(百万円)						
	売上高	9,312	8,942	9,348	8,080	5,158	2,683
	営業利益	1,048	917	1,209	726	-610	-203
	経常利益	1,098	920	1,254	727	-566	-198
	親会社株主に帰属する当期純利益	732	562	810	452	-662	-222
財政状態	(百万円)						
	総資産	7,407	7,147	8,490	8,240	6,946	6,583
	純資産	5,782	6,232	6,847	7,172	6,249	6,026
	有利子負債	-	-	-	-	-	-
キャッシュ・フロー	(百万円)						
	営業活動によるキャッシュ・フロー	830	-107	2,136	-102	-881	97
	投資活動によるキャッシュ・フロー	693	-25	-245	160	-14	-324
	財務活動によるキャッシュ・フロー	-103	-131	-130	-130	-261	0
	現金及び現金同等物の期末残高	4,513	4,256	6,017	5,946	4,790	4,563
1株当たり情報	(円)						
	1株当たり当期純利益	28.0	21.5	31.0	17.3	-25.3	-8.5
	1株当たり純資産	214.4	230.9	254.1	266.4	238.3	229.8
	1株当たり配当額	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0
財務指標	(%)						
	売上高営業利益率	11.3	10.3	12.9	9.0	-11.8	-7.6
	ROE	13.8	9.7	12.8	6.6	-10.0	-3.6
	自己資本比率	75.7	84.5	78.3	84.6	89.7	91.3
株価指標	(円)						
	期末株価	530	456	336	300	167	119

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれています。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものです。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】 株式会社総医研ホールディングス  
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンター13階  
取締役 財務部長 奥野（オクノ）  
TEL 06-6871-8888 FAX 06-6871-8899  
E-mail: okuno\_takahito@soiken.com